

新時代に生きる



非認知能力

の育成

総合的な学習の時間・
特別活動において
ログコンパスを活用して

非認知能力の育み方

非認知能力の育成に必要なことは「**経験**」。
しかし、ただの経験では効果的でない。そこで…

非認知能力育成のサイクル



客観的に
自己の姿を
見させる



仲間の前で
想いを
語らせる

児童生徒
の行動

目的意識
の喚起

教師の
しかけ

現状理解

自分の能力を
見つめる

目標設定

自分に合った
目標をつくる

他者調整

他者の意見を参考に
自己の行動を調整する

フィード
バック

見取り

働きかけ

行動

目標達成を意識して
行動に移す

より詳しく

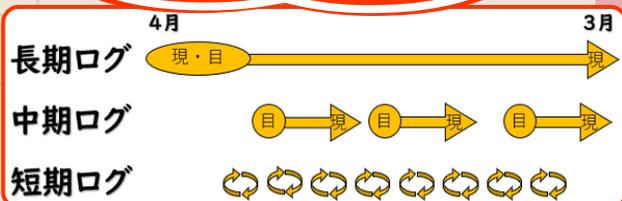


活躍できる場や
他者とのつながり
をつくる

価値ある経験

へと導く

ログコンパスの実践



長期ログ

実践した小学生の94%
中学生の77%
が「自分にとって意味のある取組だった」と回答

「1年間」でサイクルをまわす

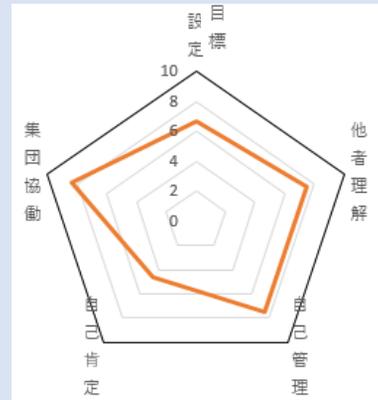
年度開始時に

- ① 能力チェック【現状理解】
- ② キャリアパスポート「目標」「自己分析」へ書込み
- ③ 1年間で高めたい非認知能力の設定【目標設定】
- ④ 自己評価(1~10で)
- ⑤ 行動化に向けて意気込みの記入

年度末にもう一度
(変容の確かめ)



非認知能力に関する質問に6段階で自己評価をさせる。その評価をカテゴリー別に10点満点でグラフ化し、視覚的に自分の能力の特徴を把握させる。

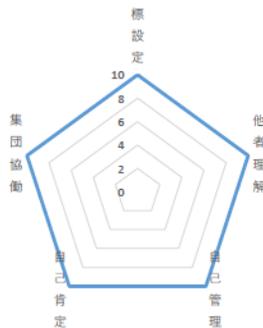


例えば、目標設定の中の「主体性」の項目では、
挑戦力:難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか
探求力:新しいものに出会ったときに様々な疑問をもち、もっと知りたいと思うかと2つの力を自己評価させる。

ワークシート(GIGA端末)

1. 能力チェックを行い、自分自身の力を分析してみよう

① **現状理解** に答えよう。



5つの項目はどんな力??

- 現状理解**: 現状に満足せず、新しいものや自分に必要なものに興味をもち、目標として設定できる
- 他者理解**: ほかの人の考えを理解しようとし、人に優しくしたり、思いやりや共感をもったりできる
- 自己管理**: 目標に向け計画を立て、まじめに努力を続けたり、責任感をもって取り組んだりできる
- 自己肯定**: 自分に自信をもち、周りからのストレスやプレッシャーに左右されずに行動できる
- 集団協働**: 外の世界やほかの人と積極的に交流し、取組を上手に進めることができる

○診断テストを参考にして、キャリアパスポートの「自分はこんな人」に追記してみよう

○「自分の将来のイメージ」にも、より具体的な姿を追記してみよう

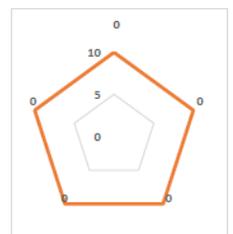
2. この1年で成長させたい力

① 特につけたい能力を別紙から5つ選び、右の表に書き込みましょう。
※下からコピーもできるよ

能力名					
自己評価					

② 今の自分の力はどれくらいか、10点満点で右の表に書き込みましょう。

③ これらの力をつけるためには、どのような行動をとるべきか、自分の決意を書こう。



中期ログ

実践した小学生の97%
中学生の79%
が「自分にとって意味のある取組だった」と回答

✂ 「総合的な学習の時間」や
「大きな行事」の取組期間でサイクルをまわす

活動前

- ① 活動での全体の目標設定(クラスでの目標など)
- ② 個人での目標設定(特に注目する非認知能力)
- ③ バディ決め(他者評価に向けて)

【目標設定】

活動後

- ④ 他者評価:A~Dで評価
活動の姿に対してコメント
- ⑤ 自己評価:1~10で評価
活動の振り返り・非認知能力
の変容を記入【現状理解】

活動前にバディ(ペア)を決め、
お互いの高めたい力を確認。
活動後にその姿を評価し、直接
コメントを伝え、記録に残す。
他者からの客観的な視点を
自己評価の改善につなげる。



ワークシート(GIGA端末)

活動	体育祭	文化祭	チャレンジ体験	
活動の目標				2年生
自己成長の目標	➔			
特に注目する能力				
振り返り				ゴール

他者評価										
記入者	体育祭		文化祭		チャレンジ体験					
挑戦力										
探求力										
自己理解力										
改善力										
共感力										
自己評価										
つけたい力	点数	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント	点数
挑戦力										
探求力										
自己理解力										
改善力										
共感力										
教師チェック欄										

短期ログ

実践した小学生の87%
中学生の81%
が「自分にとって意味のある取組だった」と回答

「日常生活」でサイクルをまわす

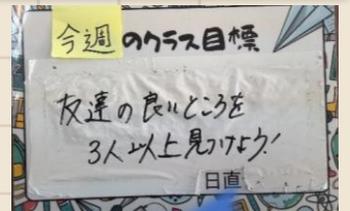
週に1度 朝活動で

- ① 今週の目標の設定
【目標設定】
- ② 毎日のチェック【行動】
- ③ 振り返り【現状理解】
- ④ 次週の目標の設定
【目標設定】

ワークシート(プリント)

目標の立て方はアドバイスを
するが、目標自体には制約を
付けない。
サイクルの習慣化が主な目的。
～アドバイス例～

- ・目標は毎週変える
(内容や難易度を調節)
- ・具体的な目標にする
(チェックの基準をつくる)
- ・結果よりも過程に注目する
(結果のために何をするか)
- ・自分に合った目標を考える
(他者の意見も参考に)
- ・ちょっとがんばればできる
目標にする
(毎日◎や×にならるように)



クラス目標へも発展

活動が進んだ段階で

- ⑤ 自身の目標と
非認知能力の
つながりを
振り返る



短期ログの目標の見直し

組 番 氏 名

短期ログにもかなり慣れて、良い目標を設定している人が増えてきました。
そこで一度これまでの目標の見直しをしてみましょう。
① これまでに立てた目標を見直し、関係あると感じた能力に「○」をつけましょう。
② ①で○をつけたものの中で、その能力が「ついた」と感じるものに「◎」を、まだまだこれからだと感じるものに「△」をつけましょう。
③ 今後自分が伸ばしたいと思う能力に「☆」をつけましょう。(①と同じ能力でも違う能力でも構いません。)

		能力	意味	①	②	③
目標を設定する力	自己理解力		自分の得意なこと、苦手なことがわかる力			
	改善力		振り返りや周りの人のアドバイスから自分を見直し、よりよくなる力			
	挑戦力		難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとする力			
	探求力		新しいものに様々な疑問をもち、もっと知りたいと思う力			
自己を管理	計画力		問題解決に向け、何が必要か考え、計画を立てる力			
	忍耐力		目標を達成するために、つらいことも粘り強くやり続ける力			

そもそも非認知能力とは...



認知能力

知能や学力など
数値化しやすい能力

非認知能力

認知能力では捉えきれない
幅広い能力

予測困難な新時代に
特に必要となる力を
絞り込む必要がある

本研究での新時代に必要な
非認知能力の全体像

情動の制御



*国立教育政策研究所「非認知的(社会情緒的)能力の発達と科学的検討手法についての研究に関する報告書」2017.3
*日本生涯学習総合研究所「非認知能力」の概念に関する考察」2022.9 を参考に抽出

発行 令和6年3月

発行元 京都市総合教育センター

研究課・カリキュラム開発支援センター

〒600-8023

京都市下京区河原町通仏光寺西入ル

TEL 075-371-2705

FAX 075-353-4851

「もっと詳しく知りたい!!」
「データや資料がほしい!!」
と思った方は、QRコード
からアクセスしてください。



研究課HP